



文教大学教育研究所  
〒343-8511  
埼玉県越谷市南荻島 3337  
Tel. 048-974-8811

# 教育研究所 ニュース

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>

2022.11 第51号

- 巻頭言
- 世界の教科書展  
—〈特集〉マレーシアの教科書
- 海外の教科書所蔵一覧
- 桶川市〈世界の教科書巡回展〉のお知らせ
- 2022年度「定例研究会」  
「文教大学の授業」

## 17年ぶりの「マレーシアの教科書展」開催にあたって

文教大学教育研究所 所長 手嶋 将博

教育研究所が30年近く続けている世界の教科書・教材等の収集事業は、これまでに約1万点を収蔵するに至っている（→3頁『海外の教科書所蔵一覧』参照）。これらの教科書・教材を通して、本事業は、その時代の各国の教育の制度やカリキュラムを知るだけでなく、その国の社会が、その時代毎にどのようなことに価値を置いていたのか、ということを明らかにするための「保存記録」（アーカイブ）としての役割を有している。

2022年の『第28回・世界の教科書展』の特集は、2005年の藍蓼祭以来、実に17年ぶりとなる「マレーシアの教科書」として開催される（→2頁『世界の教科書展』参照）。前回・2005年度は、対面・集客型で、実物の教科書の展示および、パネルによるマレーシアの教育制度の概要や各科目の解説等の他、「マレーシアの教育と教科書」と題する講演なども行っていた。今回・2022年度は、新型コロナウイルス感染症の余波もあり、前年度の「第27回教科書を通してみるアメリカの社会と教育」に続いて、2年連続のオンライン方式による開催となった。ただし、開催方式以外は、できるだけ従来の教科書展の形に戻し、「マレーシアの社会と文化の概要」、「教育制度の解説」、多民族・多文化・多言語の複合国家としての「多文化理解のための教育」等の内容をリニューアルした。さらに、2005年以降、現在までに新設・導入された数々の新科目（「デザインと技術」「交通安全教育」「情報通信教育」「Get and Smart Plus」など）、統合（「音楽」＋「美術」⇒「芸術教育」）あるいは分割（「健康・スポーツ・体育」⇒「健康教育」「体育教育」など）された科目、以前から続いているが、カリキュラムが変わって新たな内容となった科目（「公民と市民性の教育」を廃止⇒「マレー語（国語）」「英語」「イスラーム教育／道徳教育」「歴史」の各科目に「公民科」の要素を入れる）等など、前回の倍以上に収蔵量が増えて200冊以上となったマレーシアの教科書の科目別の解説動画（合計150分・全7本の動画に分割）を配信、フォローアップとして、各項目の詳しい解説を教育研究所のHPに掲載している。

今回、2度目の「マレーシアの教科書展」を企画・実施した意図は、冒頭で述べたように、教育研究所所蔵のアーカイブス活用の一環として、2005年と2020年時点での、科目そのものの増減や学習内容を比較しながら、急激な発展とダイナミックな変化を続けてきた複合社会・マレーシアの社会や制度／政策、価値観などの、どういった部分が、17年間にどのように変わっていったのか（あるいは変わっていないのか）を、時系列的に検討し、明らかにすることである。今回のマレーシアの教科書／教材の解説動画・資料等を通して、是非、それをお楽しみいただきたい。

2022年度「世界の教科書展」  
 特集 マレーシアの教科書  
 2022年11月1日（火曜日）から30日（水曜日）  
 教育研究所HPにてオンデマンド配信

1994年度から毎年開催されている「世界の教科書展」は教育研究所の特色ある取り組みのひとつである。越谷キャンパスの学園祭で開催される。ある地域の教科書だけでなく、その地域の概要や教育制度を紹介している。学外の来場者も多く、多くの人々と教育について語る場として発展してきた。

コロナ禍により2020年度は教科書展の実施を見送った。従来通りの教科書展の開催は難しいため、2021年度から、学園祭開催の時期に、独立してオンラインで開催している。視聴の申請をいただいた方には学外の方でも、限定して公開している。「ウィズ・コロナ」でのオンラインに新しい可能性を見出し、コロナの心配がなくなった後にも活用できる持続可能な取り組みにつなげていきたい。

オンライン化となることで、教科書を手取る、インタビュー動画入りのiPadを操作する、来場者と意見交換をするという、これまで重視してきた点を、どう補っていくかが課題となった。長いスパンで試行錯誤し、一つひとつ可能性を追究していきたい。

教科書は次世代を担う子どもの教育を映し出すものである。「世界の教科書展」は各地の教育の現状を比較検討した成果発表とも言える。コロナ禍をのりこえた先にある「新しい様式」での教科書展を今後も維持発展させたいと考えている。

（研究部主任 山川 智子）

～ 今までに開催した教科書展ポスター ～



## 教育研究所所蔵の 海外の教科書

教育研究所では 1991 年の創設時より海外の小学校・中学校教科書を収集している。これまでに収集した小学校教科書の内訳は下表のとおりである。また、2017 年度には公益財団法人モロロジー研究所から海外 18 개국 7,249 冊の教科書を受贈し、本研究所が所蔵している世界の教科書コレクションは 33 개국 10,166 冊となった。

研究部ではこれらの教科書をもとに各国の教育制度や教育事情を研究し、その成果を「世界の教科書展」において毎年発表している。今年度は

マレーシアの教科書を集め、昨年度同様オンライン配信での開催を行った。

今年度は台湾の出版社「康軒文教事業」日本顧問の方より、台湾教科書 52 冊が寄贈された。海外の教科書を収集・保管する学術機関は少なく、またそれらの購入も容易ではないため、ここ数年ではマスコミをはじめとする各方面からの問い合わせや取材申し込みが増えており、貴重な資料として注目されている。海外の教科書については、貸し出しはおこなっていないが、研究所での閲覧は自由であるため、ご覧になりたい方は教育研究所（10 号館 2 階）までご連絡のうえ、お気軽にお越し頂きたい。  
(河川 恭子)

諸外国の教科書所蔵数一覧  
(教師用指導書、ワークブック含む)

文教大学教育研究所

小学校 (2022/10/31現在)	国語	社会	算数	理科	生活科	総合科	音楽	美術	体育・健康	実科	英語	日本語	宗徳 教徳	情報	国際 理解	その他	計
アメリカ	42	16	46	8		5										3	120
イギリス	20	12	8	12										10			62
インド	141		5			10			7				9	15			187
インドネシア	6	12	6	6				6	2		6		6			6	56
エジプト	19	9	10	6	20						16		20				100
オーストラリア	60	7	23	18				6	10	6		3	3		1	7	144
オランダ	2	3	6	6							1					2	20
韓国	26	14	23	16	10		4	4	8	2	6		10			8	131
ケニア				3													3
シンガポール			23	13					6		5						47
スイス	2		1														3
スペイン	6	4	6	6		4					6		7	2		1	42
スリランカ	7		5								6		6				24
タイ	12	6	7	6	1	1		2	6	6	6					6	59
台湾	21	14	22	14	6	20		22	21		20						160
中国	10	11	16	15			6	5			44		6			1	114
ドイツ	8		11		20	4	2	3			17		3				68
トルコ ※	22	19	18	16							18		19			22	134
バングラディッシュ	5		3								1					3	12
フィンランド	28	7	26	18							13						92
ブラジル	10	9	9	9				5			5		11			6	64
フランス		10	7								20						37
ベトナム	14	4	8	6	2		5	5	3	2			4			2	55
ポーランド	1		1	1													3
マレーシア	36	6	33	22	7		3	5	15	3	33		24	3		15	205
ラオス	10		10		10			5	5		6					5	51
ロシア	51	1	27	3	26	0	4	9	4	11	36	0	0	7		3	182
計	559	164	360	204	102	44	24	77	87	30	265	3	128	37	1	90	2,175

※ トルコの教科書については、教育制度の理由から、小中学校で使用されている教科書の数値とした。

桶川における  
「<世界の教科書>巡回展」

2022年11月30日～12月5日  
「OKEGAWA hon+」  
(桶川駅西口駅前桶川メイン3階)

教育研究所は「教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献」を理念に掲げ、学内外で連携をとりつつ、様々な研究活動を行っている。中でも学園祭（藍蓼祭）で開催される「世界の教科書展」は多くの関心を集めてきた。2016年度から地域貢献の一環として、学外でも教科書展を開催している。

コロナ禍に見舞われた2020年度は、学内・学外ともに教科書展の開催を見合わせた。「ウィズ・コロナ」でも教科書展を続けるため、2021年度から、オンライン（オンデマンド）による開催へと舵を切った。感染防止のため、「教科書を手に取り、会場で意見を交換する」という、これまでの教科書展の特色を出せないが、教育研究所の活動の一端を少しでも公開すべく努力したい。

2020年度の中断をはさみ今年で6回目となる巡回展は、「OKEGAWA hon+」（桶川駅西口・桶川メイン3階）にて、11月30日（水）～12月5日（月）に開催予定である。テーマはマレーシアの教科書である。今回のコーディネーターの手嶋将博先生（教育学部）には、マレーシアの教育制度、教育政策の重要な項目をご説明いただいている。

開催中の12月3日（土）には、レクチャー（対面の予定）も行われる。マレーシアの現状や教育について、地域の方たちと情報共有していきたい。

大学と地域との連携で教育を考えていくにあたり、国際比較は重要である。その一環として、地域の方たちに教育研究所の活動を紹介する機会となればと願っている。

(研究部主任 山川 智子)

「定例研究会」発表一覧

第100回 8月11日(木) 13:00～16:00

- ・ビブリオバトルの多様な実践の在り方について  
綾 牧子
- ・社会教育・生涯学習における防災の学び方についての  
一考察  
阪本 陽子
- ・公立小中学校における性別違和をもつ児童生徒への  
対応に関する研究  
松嶋 淑恵
- ・就学前教育と小学校教育とのカリキュラム接続の研究  
梨子 千代美
- ・教員が学び続けるための環境  
—東京都立高等学校を中心に—  
塚原 元気

第101回 11月 5日(土) 13:00～16:00

- ・豊かなかかわり合いの中で、今と未来に生きる  
—児童の自尊感情を育む体育科の授業改善—  
清水 香保里
- ・ICT機器を活用したリモートによる異文化交流実践  
に関わる研究  
中川 真規子
- ・基礎教育の保障の課題 —研究倫理及び、インターネ  
ットリテラシー等の調査研究—  
矢作 由美子
- ・家庭科消費分野における意思決定の変化に関する研究  
—「Eコマース消費」をテーマとした授業実践を通して—  
木場 雪香
- ・外国につながる児童生徒の教育支援  
—SNSを活用した教職員および児童生徒の保護者へ  
の情報提供を通して—  
辻 菜津美

2022年度  
『文教大学の授業』執筆紹介

- 第80号 教育学部 清水 邦彦 先生 (既刊)
- 第81号 人間科学部 宮地 さつき 先生 (既刊)
- 第82号 教育学部 橘 晋太郎 先生 (既刊)
- 第83号 経営学部 石塚 浩 先生

2022年度 教育研究所スタッフ

所 長	手嶋 将博		
研究部主任	山川 智子	研修部主任	小幡 肇
事 務	河口 恭子		